

校区の概観



(1) 校区(地区)の位置及び通学の状況等

ア 本校は、和歌山市の中心部から約12kmの位置にある。市の東北端にあり、校区の東部は岩出市に接している。

イ 校区には、大阪府との境界付近に滝畑、落合という地区がある。当地区には明治時代に滝畑分教場(後に分校と改称)が設置された。滝畑分校は平成4年度より休校し、現在、当地区の児童は、通学自動車により通学している。

(2) 校区(地区)の面積等

総面積 1287.9ha(東西の最長3600m、最短1500m・南北の最長5600m・最短4000m)

山林が総面積の約60%を占めているのは、地区の北部に和泉山脈の山々(高い山で標高300m前後)が連なっているためである。

農業は稲作が主であるが、他に野菜類や花卉の栽培など作物は多様化している。近年、兼業農家が多くなっている。

(3) 校区(地区)の世帯数及び人口

世帯数・・・ 987世帯

人口・・・男 1,342人 女 1,643人 計 2,985人

(平成26年11月1日現在)

(4) 校区(地区)の自然環境等

本校は、校歌に歌われている雄ノ山をはじめ豊かな自然に恵まれた環境にある。雄ノ山峠は、大阪府と和歌山県の県境にある交通の要衝であり、熊野古道の一部として昔からその名を知られている。熊野古道は、現在の県道とほぼ重複しており、大阪府側から峠を越えると目の前に紀ノ川平野が広がっている。坂の終点には白鳥の関(紀の関)跡と山口王子跡があり、万葉歌碑も建立されている。

わが背子が 跡ふみ求め追い行かば 紀伊の関守い 留めてむかも

(巻4—545・笠朝臣金村)

「山口良いとこ」



(写真撮影 西永氏 平成14年度)